

平成29年度
県立いなみ野特別支援学校の学校評価について（報告）

平素は、県立いなみ野特別支援学校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、平成29年度の学校評価結果をまとめましたので、HP上にて公開させていただきます。

1 調査対象及び調査期間

- (1) 保護者 平成29年10月23日（月）～10月27日（金）
- (2) 教職員 平成29年10月23日（月）～10月27日（金）

2 調査方法

調査用紙の調査項目については、昨年度の本校の調査項目をもとに本校の学校評価委員が作成しました。昨年度において、学校の教育目標と対照させて項目の順序を入れ替えたり、新しい項目を付け加えたりしましたが、本年度もその内容を踏襲しています。

評価段階は、5段階で（5：そう思う 4：どちらかといえばそう思う 3：あまりそう思わない 2：そう思わない 1：わからない）で評価しました。
調査対象は、本校保護者（複数在籍については1回答）及び本校全教職員で、無記名、保護者は厳封でアンケート用紙を回収しました。

評価をされた理由や改善点の提示をお願いするため具体的な記述もお願いしました。

3 アンケート回収状況及び評価結果

- (1) アンケート回収状況
保護者：79% 教職員：100%
- (2) 集計結果
別表1 及び 別表2 のとおり

4 評価結果について

概ね良好な評価結果ですが、評価項目によっては課題があると評価されている項目があり、これらについて検討を行い、昨年度に引き続き、学校評価委員会より提言を行いました。（別紙）

1 児童生徒に応じた情報機器を活用する。

文部科学省「第2期教育振興基本計画」を踏まえ、本校では就学奨励費を活用し高等部でタブレット端末を購入するなど、自立的な学習ができるように授業での活用を始めている。

小中学部でも、ICT 機器を授業の題材や内容に応じて活用したり、視覚優位の児童生徒の学習の手立てとして積極的に導入し、興味関心と共に理解に繋がる授業づくりを行っている。

次年度は、授業参観などで児童生徒が ICT 機器を使って学習している様子が伝わるようにする。

2 教職員の専門性を向上し、実践的な指導に繋げる。

夏季休業中に研修週間を設けて、専門性や実践的な指導力が高められるように、研修等を行っている。実際の指導の中で互いに指導技術を高め合うなど、教師は個人的にまた組織的に、継続して専門性、実践力、指導力を高める努力をしている。

一方、異動などで学校が蓄積した専門性が途切れないよう、また、さらに研修の結果が指導に繋がり児童生徒の力が十分伸ばせたかどうかの検証を進める。

3 多様化する児童生徒の事例研究や打合せを、学部や学年、学級毎に継続的に実施する。

児童生徒の事例検討を学部会等で行うなど、小中高の各学年で児童生徒個々の検討方法を工夫している。また、個別の指導計画等を基に、担任間で児童生徒の実態と課題、指導の方針などを話合っており、職員アンケートでは研修の成果が報告されている。

一方、児童生徒の課題検討をより丁寧に行うようになり、今後、限られた時間の中で検討方法の工夫が必要になってきており、効果的な事例検討の工夫を行う。

4 進学・進級後に児童生徒の情報の引継がスムーズに行われるようにする。

現在、教師は校内で学部間交流を行い、他学部の児童生徒の理解を深める機会を持っている。

一方、さらに児童生徒理解ができるよう授業参観の機会を増やしたり、また、新年度開始に向け、引継ぎ週間の設定や新転入生の元担任との引継ぎ会の充実など、途切れない支援が行えるように、引継ぎ資料を改善する等の工夫を行う。

5 児童生徒の社会自立を目指す指導や取組を充実させる。

昨年度に引き続き高等部では、2年生の現場実習を1学期と3学期の計2回に増やした。その他、進路先の施設見学を行い、高等部1年生の夏季休業前には施設のパンフレットを保護者に配布し、長期休業中に個別見学や体験ができるよう情報提供している。

また、小学部中学部でもキャリア教育のねらいを学習に取込み、身辺自立・体力づくり等の「日常生活の指導」や作業学習等全ての教育活動が将来の豊かな生活に繋がるように充実を図っており、保護者への発信も充実していく。

6 清潔・快適な校内環境の改善に努める。

工事を伴う改修は、緊急性等を鑑み、適宜対応しているところである。今後実施予定の『県立学校施設管理計画』において、環境確保をしていきたい。

また、美化や整理による環境の改善は、校内ルールを見直し、教職員全体で取組めるようにする。

平成29年度学校評価アンケート結果(保護者)

(別表1)

評価 5: そう思う 4: どちらかといえばそう思う 3: あまり思わない 2: そう思わない 1: わからない

保護者用(評価)

NO	項 目	5	4	3	2	1
1	児童生徒一人一人の障害の状態や保護者のニーズを把握した個別の教育支援計画を作成し、個に応じた指導内容や指導方法を工夫している。	59%	34%	5%	1%	1%
2	教科・領域ごとに学習計画やねらいを明確にして指導や評価をしている。	41%	51%	6%	1%	1%
3	体験活動(校外学習・宿泊学習等)や修学旅行等は、児童生徒の実態に即した内容となっている。	47%	44%	6%	0%	3%
4	児童生徒の社会的自立をめざす指導や取り組みを行っている。	44%	44%	8%	0%	3%
5	教職員は、チームで協働的に学習指導をしている。	47%	42%	6%	0%	4%
6	パソコンやテレビ等情報関連機器を、児童生徒の発達段階や障害の状況に応じて教育活動に取り入れている。	25%	48%	13%	1%	13%
7	教職員は、高い専門性や実践的な指導力をもって教育活動に取り組んでいる。	35%	47%	10%	1%	7%
8	児童生徒の個人情報を適正に取り扱っている。	55%	36%	6%	0%	2%
9	災害等から身を守る教育や交通安全に関する指導を行っている。	46%	44%	5%	0%	5%
10	生活年齢に応じた性教育(清潔指導・衛生教育等を含む)を行っている。	44%	46%	4%	0%	6%
11	学習活動(給食・調理等)を通して、児童生徒の食生活の向上に役立つよう取り組んでいる。	54%	39%	5%	1%	1%
12	施設設備の安全を保ち、整理整頓をしている。	39%	42%	11%	3%	6%
13	授業の様子や取り組みを公開し、特別支援教育に対する理解啓発を推進している。	49%	41%	6%	0%	3%
14	地域の小学校・中学校・高等学校との交流及び共同学習を行っている。	43%	43%	9%	0%	4%
15	メール配信・ホームページ・学校だより・学年通信等は、学校の情報を得るのに役立っている。	51%	38%	8%	0%	2%
16	教育相談、就学相談、専門家相談等の相談業務に加え、定期的に支援だよりを発行している。	42%	47%	6%	0%	5%
17	進級・進学後の児童生徒の引き継ぎが校内できている。	30%	42%	12%	4%	12%

平成29年度学校評価アンケート結果（職員用）

（別表2）

評価 5: そう思う 4: どちらかといえばそう思う 3: あまり思わない 2: そう思わない 1: わからない

教師用（評価）

NO	項目	5	4	3	2	1
1	本校の教育方針に基づき、適切な指導・支援が各学部で行われている。	36%	62%	2%	0%	0%
2	児童生徒一人一人の障害の状態や保護者のニーズを把握した個別の教育支援計画を作成し、個に応じた指導を行っている。	34%	60%	4%	2%	0%
3	教科・領域ごとに学習計画やねらいを明確にして指導・評価を行っている。	24%	66%	9%	1%	0%
4	体験活動（校外学習・宿泊学習等）や修学旅行等は、児童生徒の実態に即して計画・実施している。	43%	50%	6%	0%	0%
5	児童生徒の学習課題に即して、社会的自立をめざす指導や「働くこと」への意識が向上する取り組みを実施している。	33%	52%	14%	1%	1%
6	個々の児童生徒の実態を共通理解し、組織的な学習指導（チームティーチング）で授業の充実を図っている。	33%	56%	10%	2%	0%
7	パソコンやテレビ等情報関連機器を、児童生徒の発達段階や障害の状況に応じて教育活動に取り入れている。	29%	60%	11%	0%	0%
8	多様化する児童生徒についての事例研究や打ち合わせを学部や学年、学級ごとに継続的に実施している。	37%	49%	11%	2%	1%
9	新しい情報を得たり実践的な指導力を高めたりするために、校内外の講習会や研修会に参加している。	19%	50%	26%	4%	1%
10	個人情報保護に高い意識を持ち、適切に管理している。	31%	54%	14%	1%	1%
11	児童生徒に災害や交通安全に関する指導を行うとともに、「命の大切さ」について考える機会を持っている。	27%	60%	11%	1%	1%
12	職員のいじめに対する意識を高めるために、いじめに関する職員研修を実施している。	11%	42%	36%	9%	3%
13	福祉施設、福祉労働行政、各関係機関と連携し、個に応じた適切な進路指導を実施している。	38%	53%	5%	0%	5%
14	児童生徒が生き生きと暮らせるよう、思いやりや助け合いの心、ルールやマナー等を育成する人権教育を推進している。	27%	61%	8%	2%	2%
15	生活年齢に応じた性教育（清潔指導・衛生教育等）を学校生活全体を通して行っている。	28%	57%	12%	2%	2%
16	学習活動（給食・調理等）を通して、児童生徒の食生活の向上に役立つように取り組んでいる。	29%	59%	11%	1%	1%
17	施設設備の安全点検や整理整頓を定期的に行っている。	33%	53%	9%	3%	2%
18	災害発生時等に備えて警備防災・緊急マニュアルを確認し、適切な対応を行っている。	33%	58%	7%	1%	2%
19	本校の授業の様子や取り組みを公開し、本校の教育活動に対する保護者・地域住民及び関係者の理解の深化を図り、特別支援教育に対する理解啓発を推進している。	47%	45%	5%	1%	2%
20	地域の小学校・中学校・高等学校との交流及び共同学習を計画し、実施している。	36%	57%	5%	2%	1%
21	メール配信・ホームページ・学校だより・学年通信等を情報発信の手段として実施している。	50%	44%	5%	1%	0%
22	特別支援コーディネーターを中心に、教育相談、支援会議、地域支援等、校内外での支援を実施している。	42%	52%	4%	0%	2%
23	校務部や委員会等の活動を通じて、学部間で連携し業務を遂行している。	33%	52%	11%	2%	2%
24	進級・進学後の児童生徒の情報交換を学部間・学年間で実施している。	22%	58%	13%	5%	2%

集計人数

129